



自動ドアに巻き込まれないようにするための防護柵

特長

- お店、商業ビル、オフィスビルの自動ドアの脇に設置し、自動ドアの安全性を大きく向上させます。ショッピングカートの突っ込み防止、子供やご年配の方の誤った激突、寄り掛かりによる挟み込みの防止として、ショッピングセンター、複合施設、銀行などでご使用いただけます。
- 自動ドアの扉が動く際に、扉とフィックスガラスとの間（戸袋）に、人や物が挟まれたり、ドアに衝突するのを防ぐための防護柵です。人が戸袋側に進入し衝突する事故は、自動ドアを通ろうとしていない第三者が被害者になることがあります。扉の動きを予想しておらず、小さな子どもやご年配の方がこのような事故に巻き込まれることもあります。防護柵の設置は安心して自動ドアを利用していただくためのものです。
- 自動ドア設置に関しての安全ガイドラインの1つとして、戸袋側における接触事故の防止策として、防護柵の設置が推奨されています。
- 自動ドアには複数のセンサーが取り付けられていますが、それらのセンサーは扉を開閉させることを主目的としており、戸袋で人や物が挟まれるのを防ぐためのセンサーが設置されているケースは余りありません。
- 少ない工具で簡単に取り付けることが可能です。
- ベースプレートの位置が偏芯しており、壁際にぴったり寄せて設置できます。

ご注意

- 後付タイプです。ベースプレート方式で、床に対してアンカーを打ち込んで設置します。

商品番号	商品名	1台価格	材質	仕上げ	サイズ			入数	単位
					H	W	D		
241-714	自動ドア用安全ガード	140,000	フレーム：SUS304 パネル：ポリカーボネート(クリア)	ヘアライン	1000	900	100	1	台

自動ドア用安全ガード



付属部品

- SUS 打込み式オネジタイプアンカー M8×50: 8本
- SUS ワッシャー : 8枚
- SUS スプリングワッシャー: 8枚
- SUS 袋ナット : 8個

